

平成31年第5回大川市教育委員会（定例会）会議録

平成31年3月22日、大川市役所2委員会室において、平成31年第5回教育委員会（定例会）を開催した。出席者及び会議の経過並びに結果は次のとおりである。

1. 開会及び閉会に関する事項

開会 14時05分

閉会 15時30分

2. 出席委員の氏名

教育長 記伊 哲也

委員 谷川 朋昭

委員 一ノ瀬直子

委員 蔵本美保子

委員 恵崎 浩則

3. 欠席委員

なし

4. 事務局等の出席者

学校教育課長 石橋 正隆

学校教育課主幹 古賀美保理

生涯学習課長 岡 辰磨

学校教育課長補佐 本田 龍雄

生涯学習課長補佐 岡 美詠子

記録者・学校教育課総務係 永島 潤一

5. 傍聴者

なし

6. 付議案件

審議事項

- (1) 議案第7号 平成30年度大川市教育委員会感謝状贈呈者について
- (2) 議案第8号 大川市スポーツ推進委員の委嘱について
- (3) 議案第9号 大川市学校運営協議会の設置に係る学校の指定について
- (4) 議案第10号 大川市が設置する学校に係る運動部活動の指針について
- (5) 議案第11号 大川市立中学校部活動指導員設置要綱の制定について

報告事項

- (1) 臨時職員等の任用について
- (2) 標準学力調査（中学校）の結果について

7. 議事の概要

審議事項	(1) 議案第7号 平成30年度大川市教育委員会感謝状贈呈者について
------	------------------------------------

質問・意見等なし	
《採決》 全員挙手により原案のとおり承認	
審議事項	(2) 議案第8号 大川市スポーツ推進委員の委嘱について
質問・意見等なし	
《採決》 全員挙手により原案のとおり承認	
審議事項	(3) 議案第9号 大川市学校運営協議会の設置に係る学校の指定について
質問・意見等なし	
《採決》 全員挙手により原案のとおり承認	
審議事項	(4) 議案第10号 大川市が設置する学校に係る運動部活動の指針について
委員	活動方針及び活動計画等について、学校ホームページ等への記載により公表することと書いてあるが、学校はホームページを持っているのか。
事務局	市のホームページに学校のページがある。
委員	この指針を保護者にも見せるのか。
事務局	この資料をそのまま公表するのではなく、概要版にして見やすくした方がわかりやすいため、概要版を公表する。
《採決》 全員挙手により原案のとおり承認	
審議事項	(5) 議案第11号 大川市立中学校部活動指導員設置要綱の制定について
委員	どういった方々を設置するのか。
事務局	<p>当市では今までも3名の方に外部指導のお願いをしており、外部指導者の制度は行っていて、謝礼も少しお渡ししていた。</p> <p>しかし、身分的に安定したものではなかったため、国が部活動指導員の制度を明確にし、補助制度も創設をした。これを機に今年度から当市では、部活動指導員に報酬を出せるよう予算化をし、合わせて4月からこの制度をスタートさせることができるようにこの要綱を制定した。</p> <p>また、外部指導者から部活動指導員に移行してもらうよう、今のところ各学校に1名ずつの想定で予算化をしている。</p>

教育長	正式名称は非常勤特別職か。
事務局	非常勤特別職。
委員	第3条に運営は教育委員会が行うとなっているが、申請は各学校長から教育委員会に対して行う形になるのか。
事務局	そうなる。学校から要請があり、教育委員会から任命をする形になる。
委員	学校で必要がない場合には、もちろん申請は上がってこないということか。学校ごとではらつきが出る可能性もあるのか。
教育長	その可能性はある。いらないという学校もあれば、2名、3名必要という学校も出てくるかもしれない。
委員	現在外部指導員でおられる3名は、部活動の顧問の先生が忙しいという理由や、専門でない先生が顧問のため専門の指導者が必要等の理由でお願いをされているのか。
事務局	そういうことになる。働き方改革で総労働時間を減らす目的。また、中には特定の種目に長けた教職員を配置できない学校もある。加えて、生徒から「特定の種目をやりたい」という要望等を受けた結果、この部活動指導員を配置することにより、人材流入が容易になることで人事面でもスムーズにいくと考えている。
《採決》 全員挙手により原案のとおり承認	
報告事項	(1) 臨時職員等の任用について
(質問・意見等なし)	
報告事項	(2) 標準学力調査(中学校)の結果について
委員	結果表では学校名を伏せてあるが、中学校が統合された際に、格差が生じる可能性があるか。
事務局	可能性は高い。
教育長	学校間格差については、ここ2年ほど申し上げている。
事務局	学力自体が低いというより、学年の雰囲気もある。2年生の生徒については全体的に良くなかった。教職員の問題だけでなく、家庭環境や部活動の関わり、スマホの所持等、様々な面から分析が必要だと考えている。
教育長	小学校時代は点数を取れていたという説明もあったが、中学校で点数が落ちてしまうのは「剥がれ落ちてしまう学力」であったということ。小学校でも学びに

	向かう意欲等含め、剥がれ落ちない学力をつけていただきたいと考えている。学習の基盤づくりが何より大切である。
--	---